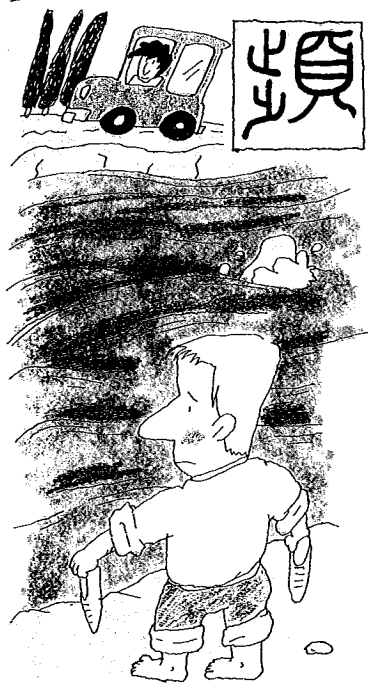


# 頻

おん ヒン

17画  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨

なりたち 本字は瀬(心)で、涉と頁との会意字。涉は、水の中を歩いて渡ること。水の中を歩いて渡ろうとし、水辺に臨んでどうしようかと、しきりに頭を悩ますこと。今は単に「しきりに」の意味に使う。



いみじゆく 頻りに。繰り返し。頻繁に。しきりに。繰り返しして何度も行われる様子。用例 頻繁な地震に不安がつる。頻発：しきりに発生すること。用例 強盗事件が頻発する。用例 強盗事件が頻発する。頻度：繰り返しの回数。用例 頻度が低い。(何度も起こる。) 頻頻：繰り返し何度も起きる様子。用例 この道路で頻々と事故が発生する。

よみかた 頻出

# 頼

おん ライ

16画  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨

なりたち 旧字体は頼。刺(心)と貝との会意形声字。刺は、木の束を切りほどくと締められたい枝がびんとはねかえることを表した字。頼は財貨が勢いよく入ること。「もうけ」。転じて、「利益をたのむ」こと。



いみじゆく 頼む。当てる。信頼：信じて頼むこと。用例 信頼にたえる。頼：何かを人に頼んで、してもらうこと。用例 依頼状 頼：人に頼ること。用例 依頼心 頼：定職を持たず、無法な行いをする。また、そういう人。用例 無頼漢 頼信紙：電報を打つときに電文を書くための紙。発信を依頼する紙の意味。発信紙の古いよび方。

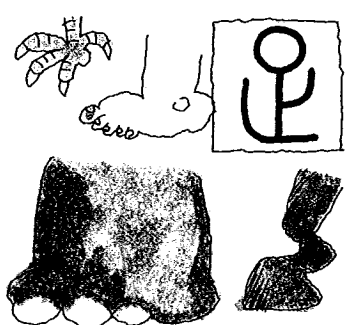
よみかた 空頼み

# 足

おん ソク

7画  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨

なりたち 足の裏の形をかたどった止(止)と、膝小僧(足)の形を表した〇との会意字。膝から下、足の裏までの部分脚の下半分の称。また、うるおう・たりの、意味に用いられる。



いみじゆく あし。足首：くるぶしの上の、少し細くなった部分。足の細くなった所の意味。足である。速足：歩いて速くまで行くこと。特に、学校で日帰りの旅行をすること。禁足：外出を禁じること。

▼たりる。満足：①十分なこと。用例 満足な出来ばえ。②思い通りで、満ち足りた状態であること。用例 現状に満足する。不足：たりないこと。用例 準備不足。補足：加える。補足：たりない所を補って、つけくわえること。

よみかた 足計算・勇み足 さんこう 特別なよみかた ↓ 足袋

# 跡

おん セキ

13画  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨  
丨

なりたち 両足を広げて歩く意味の亦(止)と足との会意形声字。歩いたあとにつく「あしあと」を表した字。転じて、広く「あと(あとかた)」の意味に用いられる。



いみじゆく あしあと。足跡：①あしあと。②業績。用例 偉大な足跡を残す。人跡：人のあしあと。用例 人跡未踏(人のあしあとが踏みしるされていない。人がまだ行ったことがない) 追跡：あしあとを追いかけること。逃げるものを追いかけること。

▼あと。あとかた。遺跡：昔の有名な建物や戦場や住居などのあと。旧跡。筆跡：書かれた文字のあと。書きぶりや形などをいう。用例 筆跡鑑定(筆跡がある人のものかどうか調べる) こと。また、筆跡により、性格などを推測すること。

あとつき。跡目：家を継ぐこと。また、その人。継がれるもの。

## 足跡

## 頻頼